

## ～釜山でハイキングしてみませんか？～

下関市総合政策部国際課  
(釜山広域市派遣職員)  
白野 哲

気候も暖かくなり、街中や地下鉄の中でトレッキングやハイキングに出かける人たちをよく見かけるようになりました。韓国ではトレッキングやハイキングの人气が高く、専用の遊歩道が数多く整備されています。その代表例としては、釜山から北朝鮮国境近くにある統一展望台までの総延長770キロにおよぶ韓国の海岸線を歩く「ヘパランギル」や釜山市内に整備されたハイキングコース「釜山カルメッキル」などがあります。

ここでは「釜山カルメッキル」を紹介したいと思います。「カルメッキル」とは、釜山市の鳥である「カモメ」を意味する韓国語「カルメギ」と、「道」を意味する韓国語「キル」の合成語です。釜山市内に現在9コースのカルメッキル(総延長263.8キロ)が造成されており、海辺の道や川辺の道、林道、都市道が連結した様々な景色を楽しみながらハイキングができるのが特徴です。

全9コースの中でも特に人气が高いのが、カフェやホテルが立ち並ぶ広安里海水浴場と、沿岸の絶壁を縫う遊歩道「二妓台海岸散策路」をつなげた「2-2区間」です。2-2区間のルートおよび所要時間は次の通りです。

○広安里海水浴場～トンセンマル展望台(4.0km・約70分)～オウルマダン(1.2km・約30分)～五六島(4.0km・約80分)

2-2区間の見どころは何ととってもスタート地点の広安里海水浴場です。広安里海水浴場は海雲台ビーチと並ぶ釜山2大ビーチの1つで、海水浴場の沖合いには広安里地区と対岸の海雲台地区を結ぶ広安大橋が架かっており、昼はもちろんのこと、美しい夜景を見るために多くの人たちが集まる人気のエリアとなっています。また、約2kmに及ぶビーチ沿いのメインストリートには、真正面に広安里大橋やビーチを臨むことができるおしゃれなレストランやカフェ、ダイニング・バー、海の幸が味わえる釜山ならではの刺身店など様々な種類のグルメ店が軒を連ねています。散策にもデートにもぴったりのスポットです。

ゴール地点の五六島は歌手チョー・ヨンピルのヒット曲『釜山港へ帰れ』にも登場する島で、潮の干満によって島が五つに見えたり六つに見えたりすることから名づけられました。その五六島を一望する絶壁から海に突き出す展望台「五

六島スカイウォーク」も人気のスポットです。透明なガラス床からは35m下の海が見え、スリル満点の“空中散歩”を楽しむことができます。

広安里海水浴場から五六島までの道中には、広安大橋やマリンシティのビル群が一望できる「トンセンマル展望台」や広安里から海雲台までを一望できる広場「オウルマダン」もあり、見どころの一つになっています。

釜山にお越しになった際には、買い物、観光、食べ歩きだけではなく、一度釜山カルメッキルをハイキングしてみたいはいかがでしょうか？新たな釜山を発見できるかもしれません。市内主要観光案内所（海雲台、釜山駅、南浦洞など）では「カルメッキル」スタンプラリー用の冊子も配布されていますので、スタンプを集めて釜山観光記念にしてください！



【釜山カルメッキル全コース】



【五六島へと続くカルメッキル】